

# SDGs（持続可能な開発目標）とは？

## SDGs 達成のために金融が果たすべき役割

金融調査部 SDGs コンサルティング室

研究員 柿沼英理子

2015年9月に国連サミットにおいて、SDGs（持続可能な開発目標）が採択されてから3年あまりが経過し、日本でも企業におけるSDGsへの取り組みが広がっています。開発目標という、開発途上国を対象としたものであるという印象を持たれるかもしれませんが。しかし、SDGs採択の背景には、サステナブルな社会へ移行するためには、開発途上国だけでなく、先進国についても「経済」、「社会」、「環境」の3つの側面を調和させ、目標達成を目指す必要がある、という考えがあります。同時に、目標の達成のためには、政府や企業、市民団体など様々なステークホルダーが積極的に取り組むことが求められています。その中でも、金融は、お金の流れを通じて経済を動かすという、重要な役割を担っており、社会のサステナブルな発展に貢献することが求められています。

第1回では、SDGsが採択された経緯や、目標の内容を確認しながら、SDGs達成のために金融が果たすべき役割を探っていきます。

## SDGs 採択の経緯

2015年9月、国連サミットにおいて、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）が採択されました。SDGsにおいては2030年までに達成すべき17の目標が掲げられています。国連で採択された開発目標が、なぜ、日本においても官民を巻き込む大きなムーブメントを引き起こしているのでしょうか。シリーズ第1回ではSDGs採択の経緯と普及の背景を探っていきます。

SDGsの前身は、2000年に採択されたMDGs（Millennium Development Goals：ミレニアム目標）であり、2015年を達成期限とし、開発途上国向けに貧困の削減や初等教育の達成などの目標が掲げられました。MDGsは一定の成果を上げたものの、サブサハラ・アフリカでは極度の貧困状態にある人の割合がいまだ高い水準にあることなどが課題として残されました。また、MDGs採択からの15年間で、気候変動問題の深刻さが増したことや、先進国においても国内格差が拡大し貧困が問題視されるようになるなど、新たな課題も浮上しました。そこで、サステナブルな

世界を実現するために、「誰一人取り残さない」ことや、先進国も含めてユニバーサルに問題に取り組んでいくことを基本方針とする SDGs が採択されました。

## 17の目標について

SDGs は 17 の最終的な目標と、それを達成するための 169 の具体的なターゲット及びターゲットの達成度を測定する 232 の指標から構成されています。17 の目標は、持続可能な開発の 3 つの側面である「経済」、「社会」、「環境」に立脚しています。つまり、サステナブルな社会へ移行するためには、この 3 つを調和させ、経済発展を進めつつ、公平な社会の実現や環境負荷の低減に努めていくことが必要であると考えられています。17 の目標は相互に関連するものであるものの、大きく分けると目標 8、9 は「経済」、目標 1～6、10、13、16 は「社会」、目標 7、11～15 は「環境」に対する目標であると理解することができます。目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」では、1～16 までの目標の達成のために様々なステークホルダーがパートナーシップを構築しながら地球規模の課題に向き合っていくことが求められています。

目標に対するターゲットと指標の位置づけを「目標 7: エネルギーをみんなに そしてクリーンに」を例に確認します。目標 7 に対して 5 つのターゲットと 6 つの指標が設定されています。1 つ目のターゲットでは、「2030 年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する」であり、指標として「電気を受電可能な人口比率」、「家屋の空気を汚さない燃料や技術に依存している人口比率」の 2 つが挙げられています<sup>1</sup>。

図表 1: SDGs (持続可能な開発目標)



(出所) 国連広報センター

<sup>1</sup> ターゲット及び指標の日本語訳は総務省による仮訳。

## SDGs 達成のために金融が果たすべき役割とは

金融は、お金の流れを通じて経済を動かすという、重要な役割を担っています。社会に対する影響が大きいだけに、長期的な視野に立ち、社会の持続可能な発展に資することが求められます。こうした観点から、SDGs 達成のために金融が果たすべき役割の例を〈図表 2〉に挙げました。環境問題の解消や、先進国と開発途上国、都市と地方といった国内外での格差の解消など、幅広い分野で金融の役割が期待されます。「SDGs と金融」シリーズは、第2回以降、SDGs 達成に資する個別のテーマについて、金融には何ができるか考えていきます。

図表 2 : SDGs 達成のために金融が果たすべき役割の例

SDGsに関連するテーマ	金融が果たす役割〈例〉
ESG投資	「環境」や「社会」、「コーポレート・ガバナンス」に配慮した企業に資金が流れる仕組みを作り、持続可能な経済成長を促進する。
フィンテック	決済システムの高速度・効率化を実現し、利便性を高め、経済成長の基盤を作る。 透明性の高い資金の流れを確保し、マネーロンダリングを防止する。
インフラファイナンス	開発途上国を中心とするインフラ投資不足を解消し、質の高いインフラの構築を可能にする。
地方創生	投融资や事業のサポートを通じ、地方企業などへのビジネスを支援することで、地方経済を活性化させる。
金融経済教育	金融リテラシーを身に付けることで、家計部門の安定的な資産形成を実現する。

(出所) 大和総研作成

(次回予告 : 第2回「ESG投資について」)

以上